



九条の樹

80号
2019年9月発行

発行：東久留米「九条の会」 連絡先：Tel 042-473-9489 (鈴木)
URL：http://higashikurume-9.net mail：higashikurume9@jcom.home.ne.jp

安倍首相なぜ「憲法改正」したいの？

参議院選挙の結果を受けて安倍首相は「憲法改正について議論しよう」という主張が支持された」と言っています。また父、安倍晋太郎氏の墓参りをして「憲法改正」を誓った、と報道されました。

選挙の結果は与党側が憲法改正発議に必要な3分の2を割ったことが大きな特徴です。「今憲法を変える必要はない」が民意です。国民も与党内部さえ安倍首相一人が「改憲、改憲」と騒いでいるのか。

憲法学者の長谷部恭男さんは「安倍さん自身も、じつは憲法を変える意味がどこにあるのか、本当のところはわかってい

ないのでは」と書いています。「憲法の良識」朝日新聞出版）

安倍さんは墓参りの時も「憲法改正は自民党結党以来の党是だ」と言っています。安倍さんにとつて憲法改正が「自己目的」になつてしまい、いま国民が求めている「安心できる福祉、年金の充実」や「景気を良くして」という声に

応えて取り組む気は感じられませんが。

長谷部さんは「憲法というものは簡単に換えられるものではない」と言います。憲法は「その国のかたちを決めるもの」だからです。外国ではもっと変えているという声もありますが、変えているのは憲法の基本的なところではありません。

日本国憲法の基本というのは「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」の3つと言われています。これは第2次世界大戦を起こした国の一つとして戦後の世界に仲間入りするとき世界の人たちに誓った原則です。この3つの原則の中でも「平和主義」は柱となるもので、それが9条です。

アメリカの軍事政策の意向で自衛隊の参戦を求められたからと言って9条を変えようとする首相らの態度は「憲法を変える意味が分かっていない」と言われても仕方ありません。

(事務局)

◆14周年のついで 10月26日(土)
開演 13:40 成美教育文化会館

戦争ぜったいやだから！
東久留米「九条の会」
14周年のついで

講演 金子勝さん
「どう立て直す、くらしと社会」
中谷経典 武志の本質

2019年 10月26日(土)
13:40開演 (開場13:20)
成美教育文化会館
グリーンホール

＜オープニング＞
フルート演奏
立中政憲と、藤井貴代。

主催：東久留米「九条の会」
後援：東久留米市、東久留米市議会、東久留米市教育委員会、東久留米市文化協会、東久留米市市民会館、東久留米市市民センター、東久留米市市民会館、東久留米市市民センター、東久留米市市民会館、東久留米市市民センター

協力費：500円 (伊勢、福山、小倉、津)

政府は消費税を10%に増税しようとしています。そのよ
うな動きの中、「戦争はいや！
声を上げよう実行委員会」と
「東久留米市民連合」の共催で、
学習会が開催されました。
前号(79)号の続き、講演
の要旨を2回目です。

消費税を考える

浦野広明さんのお話

(立正大学法学部客員教授・税理士)



タックスハイブン

タックスハイブンを聞いた
ことがあると思います。租税
回避です。日本は大企業が税
金払わなくていい国になって

います。

大企業がどうなっているか。
企業が儲けがあったときにか
かる税金は国税が法人税、地
方税が法人住民税、法人事業
税、この三つです。2017
年を見ると、本来は(利益の)
30%払わなければいけないの
ですが、実際の負担を見ると
税金1円も払っていない商社、
大企業が多い。どうしてそうな
るかというところを避けてた
くさん支社を置く。ケイマン
諸島とか。例えば70万円の原
価で製品を子会社に売る。儲
けはありません。子会社はそ
れを100万円で売る。30万
円の利益をあげるが、ケイマ
ンでは税金がかからない。親
会社に対して子会社は利益を
配当で戻す。決算では収益に
なるが、税法では海外の子会
社から受け取った配当は95%
税金をかけないという法律が
あります。税逃れの一例です。

中小企業はそういうことはで
きません。

それから住民税ですが、お
金持ちも所得の少ない人も一
律10%です。ところが74年当
時は住民税だって13段階の累
進課税でした。

所得税は74年には(税率)
10%から75%までの19段階の
累進課税でしたが、今は5か
ら45%までです。

この減税でどうなったか試
算しました。74年当時に比べ
ると所得税で10兆円ぐらい減
税になっている。法人税では
今より19兆円余の減税で合計
約30兆円の税の減収です。応
能負担原則は所得課税、儲け
にかかるのが原則です。

消費税のここが問題

ところが消費税は個人の収
入にかかわらず消費にかかる
から低所得者ほど重い負担に
なるのが消費税です。

消費税も2種類あります。全
部にかける一般消費税。もう

一つ個別消費税は酒税など
です。個別消費税はぜいたく品
に多くかけることができます。
消費税について国税庁はどう
説明しているか。「消費税は事
業者に負担を求めるものでは
ありません。税金分は事業者が
販売する商品やサービスの価
格に含まれて次々と転嫁され
最終的に消費者が負担するこ
とになります」これはあまり
正確ではありません。消費税
法では消費税を納付するのは
事業者なんです。個人事業者
とか会社です。どこを見ても
買い物をする消費者が負担す
るとは書いていないです。コ
ンビニ等で買い物をするレ
シートに消費税いくらと書い
てありますから、自分で負担
している気持ちになります。あ
そこらに書いてあるのはお店
が払う消費税がいくらかとい

うことです。巨額な儲けがある店は8%払いますが、零細な店は儲けがなくても8%取られるので、滞納してどんどんつぶれていくというのがこの30年の歴史です。

消費税は3%から始まって9年後に5%にし8%にするまでに17年かかっています。2014年4月から8%になった、その時の家計調査によると消費支出が非常に減っています。それが今に至る不況の原因になっている。

ここで10%にするとうなるか。今食料品の値段が上がっています。事業用の食用油の値上げで、外食も上がっている。ですから年収500万の世帯で支出がどれくらい増えるかを消費税分だけでなく計算すると、年間21万3千円増えます。生活できない。食料品はすえおきだと言っています。しかし外国を見るとイギリス

は消費税20%ですが、食料品はゼロです。イギリスは国税に占める消費税の割合は25.8%。日本は27.9%です。生活必需品にかけているからで

す。さらに消費税引き上げ後はレシートに誰に売ったかを報告させることになっていきます。カードを使った人のマイナンバーを知らせろということです。これをねらっています。新しいレジスターも必要です。これで儲かるのは電子産業です。

消費税の大きな問題は税率のゼロ%になる事業所がある。輸出した売り上げは0%。消費税の計算は売り上げに8%かけてそこから商売をやっている消費税がかかった取引を抜き出してそれに8%かけてその差額を収めるというものです。トヨタ自動車は消費税はどうなっているか。国内販売が4兆円、輸出売り上げは

8兆5千億円で、輸出分は消費税0円。国内分は3270億円です。

納税者の運動

明治維新以前はおかみとして勝手に取り立てた。明治以降国家はその手法を引きつぎます。新憲法で初めて、法に基づき課税の原則ができます。国民の代表の国会で決める。大企業から適正な税金を取ることが国会で全会一致で決めたことがあります。1974年

です。衆院大蔵委員会、皮肉なことには委員長は安倍さんのお父さん安倍晋太郎です。「大資本に対する特権的な租税特別措置をなくし、法人税を累進性とし、小法人の税率を大幅に引き下げる」という内容です。それから45年間、逆のことがやられてきました。実

年経ちますが、食料品は非課税で一度も引き上げられていません。スエーデンや外国の例、消費税を廃止したマレーシアの経験も学び税制を変えていく必要があります。(終)

消費税は欠陥税制 7の大罪

1 個人消費が減り、景気を底から冷やす



2 赤字でも、転嫁できなくても納めなくてはならない。中小企業の営業を破壊



3 逆進性が強く、低所得層には重い負担



4 輸出還付金や法人税減税など 大企業を優遇



5 消費税負担を減らすためのリストラを促進する



6 5人に1人の事業者が払えない…膨大な滞納を招く



7 戦争する国づくりに使われる



(出典 全国商工新聞)

聞いて

くだろい

最近気になることを、記してみたい

島和重（南部9条の会）

一つは、自分と違った意見を認めようとしめない、じぶんと違った立場を認めないで相手を徹底的に批判し、全部を否定する。特に力の強い立場のものほど、この傾向にあるような気がする。

「武士の情け」などない、強者の横暴である。全体として不寛容な社会になりつつあるのではないかと思う。

二つは、最近のマスコミ、特にマスメディアはおかしい。新聞、テレビといったジャーナリズムは、本来、単なる事実の報道だけでは

なく、権力の監視・チェックという使命があることを忘れていてのではないかと思う。沖縄の基地問題や福島

島の原発事故を過少評価する、最近では参院選の結果報道で「与党の勝利」などと言ったテレビ報道もあった。権力の監視というよりは逆に権力に迎合しているように思える。

次に、教育の戦前回帰の危険を感じる。最近、自民党の閣僚経験者などから、「教育勅語」は現代において

も意味ある教えであり、その意味を学校においても教える必要があるなどと言って、道徳教育とともに甦らそうとする動きが気になる。

無言館

矢澤健司（前沢一丁目）

8月3日（土）、4日（日）に長野市で開催された全国障害者研究会第53回長野大会2019に参加してきました。全国から1800人が参加して障害者問題について検討が行われました。

記念講演は、『無言館』ものがたり』（2005年菊池寛賞受賞）の著者 窪島誠一郎さんでした。「無言館」は、徴兵により画家や彫刻家、あるいはデザイナーや建築家などになる夢を断たれ、戦場に散った美術学生（戦没画学生）たちの遺した絵だけが展示されている美術館です。なぜ「無言館」っていう名をつけたかって？

だって 戦死した画学生さんの絵の前に立つたら

悲しくてくやしくてつらくて何もいえなくなっちゃうんだもの 黙るしかないんだもの

《平和を考える本》

『神に守られた島』

（中脇初枝・講談社）



第二次世界大戦末期、沖縄からも遠い沖永良部島にまで、米軍機による攻撃は及んだ。それまで、神に守られた島、と信じて疑わなかった少年たちは、ある日、不時着した特攻機の若い特攻隊員を助ける。彼が言うには、本当は家族のために死にたくなかったが、上官に無理強いされたのだと。

やがて戦争は終るが、島に知らされたのは終戦から十三日後。一億玉碎は幻で、家族の戦死は無駄だったのか。「だまされた」と誰かの責任にして終わらせていいのか。少年たちは、自分たちの頭で考え始める。（高田）